

# 第 4 期米沢市工業振興計画(令和 8 年度～令和 1 2 年度)概要 (案)

## 基本目標 『 地域の稼ぐ力の向上による好循環なものづくり産業の実現 』

### 本市の特色

- ◆裾野の広い産業基盤 ◆山形大学は最先端技術シーズを多数保有
- ◆県内トップクラスの製造品出荷額等(令和 5 年県内 2 位、東北管内 10 位)

### 社会経済の潮流

- ◆人口減少・少子高齢化の進行 ◆A I・デジタル技術の普及
- ◆賃金の上昇 ◆物価の高騰 ◆円安の進行 ◆不安定な国際情勢

### 現状の分析

### 本市の課題と施策の方向性

- ① 次世代を担う産業人材の育成及び定着の促進
- ② 高付加価値なものづくりの推進による地域産業の収益性の向上
- ③ 産学連携による企業の持続可能性と成長性の向上
- ④ 新たな産業団地の整備と成長分野の企業の立地促進

### 課題解決に向けた検討

### 基本戦略・具体的施策

※ 太枠表示の施策は「重点施策」として、より重点的に取り組むものを表しています。

#### 基本戦略 1 新時代を見据えた産業人材の確保と育成の強化

##### 施策 1 ものづくり人材の育成及び定着の促進

新たな取組：米沢商工会議所新会館内(仮称)米沢地域産業振興センターを拠点に実施する産業人材育成事業、県立米沢鶴城高等学校地域コンソーシアム等による新規学卒者の地元定着促進事業

#### 基本戦略 2 企業の経営基盤強化による地域競争力の向上

##### 施策 2 先端技術の活用促進、 施策 3 企業競争力強化に向けた技術力及び収益性の向上に対する支援、

##### 施策 4 企業間連携・ネットワーク強化に対する支援、 施策 5 販路開拓・取引拡大に向けた企業支援

新たな取組：山形大学や産業技術総合研究所との連携により実施するB I L(ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ)を契機とした地域企業の技術力・研究開発力向上

#### 基本戦略 3 ものづくりを牽引する新たな産業基盤の構築

##### 施策 6 新たな産業団地の整備推進、 施策 7 波及効果が高く成長が見込まれる産業の立地促進

新たな取組：新産業団地の米沢北インターチェンジ周辺への整備及び成長産業の誘致に向けた取組の推進

### 産学官金の連携による推進

「稼ぐ力」(人材・技術・企業)の強化とその相乗効果により、産業の高付加価値化と市民所得の向上を実現し、市民が安定して働き続けることができる「ものづくりのまち米沢」を創造する

数値目標(令和 12 年度)

製造業付加価値額：1,650 億円

従業員 1 人当たり付加価値額(労働生産性)：1,650 万円